

2022年6月20日

報道関係者各位

参議院選挙に向けて投票率の向上をめざした選挙報道を要望します

国際婦人年連絡会

世話人 橋本 紀子
前田 佳子
城倉 純子

日頃より、国民の知る権利に応え、民主主義の発展に寄与する報道に尽力されているみなさまに、感謝申し上げます、敬意を表します。

国際婦人年連絡会は女性の地位向上、ジェンダー平等の実現をめざし、全国組織 34 団体が結集し活動しています。本会は国連経済社会理事会(ECOSOC)への諮問資格を与えられています。

私たちは、コロナ禍での総裁選報道、時間を置かず行われた総選挙の報道を視聴調査し検証してきました。その問題点を踏まえ、参議院選挙報道に対し以下要望します。

記

1. 選挙期間中は各政党、立候補者の主張や政策を丁寧に伝え、違いや争点を報道の中心におくよう求めます。また、大政党に偏らず各政党を公平公正に扱ってください。これまでは、政党についての報道時間が大政党に長く、小政党に短い等、公平ではありませんでした。
有権者の政治選択に資するように選挙に関する内容を充実させ、国民の知る権利を保障する報道をしてください。
2. 低迷している投票率が上がるように、選挙に関する報道は特別番組を組み、選挙報道に当てる放送時間を増やし、投票行動を喚起する内容としてください。
3. 民意が反映されず、女性が立候補しにくい等、小選挙区比例代表制選挙制度の問題点を追及し、国民の真意が十分生かせる選挙制度のありかたについても報道してください。